



学校だより

# はくれい



白山市立白嶺小学校

白山市立白嶺中学校

第3号

令和7年5月16日

5月の連休が終わり、山の緑もどんどん色濃くなるようです。今月は、地域の方々や保護者の皆様のご協力を頂き、白山手取川ジオパークの中心に学ぶ「白嶺ならでは」の体験学習をすることができました。仲間たちと協力し、郷土の魅力を再発見してきました。

## ①白山手取川世界ジオパーク(ユネスコ世界認定)を満喫してきました♪

5月2日、中学生はジオパーク研修(御仏供杉までウォークラリー)に出かけました。

手取川と尾添川の合流点や手取峡谷のビュースポット、意外な場所に設置された意外な「モノ」を探すなど、車で通ったのでは決して気づかない「歩いてこその8km」を堪能しました。現地では「モルック」にも初挑戦し、あっという間にコツをつかみました。



【綿ヶ滝を遠くに(展望台より)】



【モルックに初挑戦】



【満開の桜並木をくぐる】



## ②「ジオのめぐみ」を五感でたっぷり味わいました♪

5月8日、小学生も中学生も一里野温泉スキー場に出かけ、山菜採りを体験しました。

大勢の地域の方、保護者の皆さんにご協力いただき、コゴミやアザミ、たらの芽やコシアブラなど、皆それぞれ持参した袋いっぱい採ることができました。6年生は採れたての山菜を天ぷらに、中学生はアザミ汁の調理、はんごうでご飯を炊く係に分かれ、みんなのお昼ご飯を用意しました。目を凝らして探し、自分の手で採取し、調理時の香りを楽しみ、聞こえてくる音を確かめ、ほっぺたが落ちるほど美味しい料理を存分に味わいました。

子供たちは、自然の恵みや大勢の協力者に感謝の思いを抱くと共に、こんなにも誇らしいふるさとの魅力をいつまでも守りたいと感じたことでしょう。



【ボランティアの皆さんにご挨拶】



【助け合い・支え合い】



【美味しい天ぷらのできあがり】

【みんなで集合写真】



【たくさん採れました】



【山菜の天ぷら調理中】



### ③小学5・6年生は田植え体験をしました♪

【いよいよ田んぼに入ります】



【手ぎわが良くなってきました】

【ていねいに植えます】

今年も田畠さんの田んぼをお借りして、田植えを体験させてもらいました。白嶺っ子の手ぎわの良さに、田畠さんは感心し、JA職員の方も目を丸くして驚いていました。秋の稻刈りが今から楽しみです。

### ④小学3年生はアユの放流を体験しました♪



ふりかえり

- みんなで声を掛け合って進むと重かった足が軽くなった。御仏供杉の大きさにも驚いた。
- 田んぼにいろいろな生き物の足跡を見つけて驚いた。いつもとは別の道に見えて楽しかった。
- よく知っているつもりだった自分の住む地域に、意外と知らないことが多かった。
- 不思議な木を見つけました。耳を当てるとコソコ、トソソという音が聞こえてきました。
- 地域の人に教えてもらって山菜の採り方が分かりました。地域の人はすごいと思いました。
- 服がどろだらけになるほど頑張りました。稻刈りでは今日よりもっともっと頑張りたいです。
- 手で植えるとこんなに大変なんだと思いました。でも、体験できて本当に良かったです。
- アユをはじめてさわりました。ぬるぬるしていて、ザラザラしたところもありました。
- アユをほう流するとき、「元気に大きくなってねー」と、声をかけてあげました。

日頃の授業に加えて、山菜採りの名人や農業・漁業のプロ、地域の方からお話を聞き、実際に体験してみることは、子供たちにとってかけがえのない学びになります。ご協力いただき、誠にありがとうございました。上記の他にも子供たちの「ふりかえり」には、新たな発見や驚き、感動など、本物の体験からしか学べないことや感じたことがたくさん書いてありました。

児童がアユ稚魚放流  
白山・大日川  
白山市白嶺小、鳥越小、河内  
小の3年生計22人は13日、同市  
出合町の大日川でアユの稚魚約  
1万4千匹を放流した。  
児童は体長8~11㌢、体重約  
約14㌘の稚魚を次々に川に放つ  
た。白嶺小の川端多緒さんは「元  
気に大きくなってほしい」と話  
した。放流事業は2010年に  
始まり、白山手取川  
漁協が県水産総合セ  
ンター美川事業所で  
アユの稚魚を川に放  
つ児童は白山市出合  
町の大日川  
育った稚魚を運搬し  
た。

令和7年5月14日(水)北國新聞朝刊